

四日市公害と環境未来館 通信

～四日市公害と環境未来館・四日市市立博物館 ご来館者1万人～

3月21日にオープンした四日市公害と環境未来館・四日市市立博物館の来館者数が4月26日、ついに1万人に達しました。

四日市公害と環境未来館は、四日市公害の歴史と教訓を風化させることなく次世代に伝え、未来に豊かな環境を引き継ぐための施設です。開館後1カ月余りでこれだけ多くの人

3月21日に開館した四日市公害と環境未来館の見どころや取り組みなどについてご紹介します。

にお越しいただき、本当にありがとうございました。

見事1万人目となったご家族は「1万人目とは知らなかったので驚いた」と話していました。



～多くの団体が四日市公害と環境未来館を見学されました～
この来場者数が1万人に達するまでに、コンビニート企業の新入社員

や、ベトナム ホーチミン国家政治学院の指導者候補生など、さまざまな団体が四日市公害と環境未来館を訪れています。内部小学校の6年生は、環境にも優しい四日市あすなろう鉄道に乗って来てくれました。

企業内研修や海外からの視察、そして次世代を担う子どもたち、いろいろな人に見てもらい、未来へと繋げていきたいと思ひます。



問い合わせ先
四日市公害と環境未来館
(☎354-8065 FAX329-5792)

支え合い 高齢社会



～認知症高齢者を地域で見守るために～

最近、徘徊による行方不明や介護疲れなど、認知症に関連する話題が報道されることが増えていますが、その背景には、高齢化とともに認知症になる人が増加していることがあります。

認知症の人は、記憶力や判断力に障害が起り、日常生活で、できないことが増えてきます。また、その

高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちづくりのための取り組みをご紹介します。

ことで不安や混乱を感じ、暴言や被害妄想などの症状が出る場合があります。そのため、介護する家族に大きな負担がかかることも多く、本人や家族だけが悩みを抱えることのないよう、周囲の協力によって支えていくことが必要となっています。

本市では、認知症について理解し、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」の養成や、徘徊して行方不明になった認知症高齢者などの早期発見のため、その人の特徴などをメール配信して情報提供を呼びかける「徘徊高齢者等SOSメール」を実施しています。

本市を「認知症になっても安心して暮らせるまち」にするため、こうした取り組みに参加していただくほか、地域の中で認知症の人のことを気に掛けていただくなど、できることからご協力をお願いします。

【徘徊高齢者等SOSメールの登録方法】

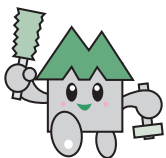
右のQRコードを読み取り、サイトに接続後、手順に従って登録してください。



問い合わせ先
介護・高齢福祉課
(☎354-8425 FAX354-8280)

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



随時加入者
募集中
建労
四日市支部

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。